

学校評価集計（児童・保護者）

令和7年度 春江東小学校

A:当てはまる B:どちらかと言えば当てはまる
C:どちらかと言えば当てはまらない D:当てはまらない E:わからない(保護者のみ)

① 温もりと優しさ溢れる心の育成

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

あいさつ運動の推進と無言清掃の徹底			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、先生や友だち、家族や地域の人に自分から挨拶や会釈をしている。	R7年	45.3	44.6	10.1	0.0		○ 89.9
		R6年	48.2	43.8	7.3	0.7		◎ 92.0
	私は、口を閉じてそうじに取り組んでいる。	R7年	70.2	23.2	5.5	1.1		◎ 93.4
		R6年	63.5	29.6	6.0	0.9		◎ 93.1
保護者	お子さんは、家族や地域の人に挨拶や会釈をしている。	R7年	26.3	54.5	18.1	1.1	0.0	○ 80.8
		R6年	24.6	58.0	14.0	2.7	1.7	○ 82.6

【成果と課題、改善策・向上策】

・東っ子委員会があいさつ運動に取り組んだときには、一人一人、しっかりあいさつをすることができた。来年度は他の委員会やクラスごとに、児童が中心となってあいさつ運動の機会をつくっていききたい。
・清掃のやり方が明確になり、班長を中心に、口を閉じてそうじに取り組む習慣が身についてきた。

人権意識の向上と思いやりの心の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、学校のきまりや約束を守っている。	R7年	51.6	40.8	7.3	0.3		◎ 92.4
		R6年	49.2	45.5	5.0	0.3		◎ 94.7
	私は、友だちに優しく接している。	R7年	61.6	36.0	2.4	0.0		◎ 97.6
		R6年	66.8	29.8	3.3	0.3		◎ 96.4
保護者	私は、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができる。	R7年	68.1	28.5	3.4	0.0		◎ 96.6
		R6年	71.4	25.5	2.5	0.6		◎ 96.9
	お子さんは、学校や社会のきまりを守って生活している。	R7年	43.5	53.6	2.4	0.0	0.5	◎ 97.1
		R6年	38.6	56.0	2.0	0.7	2.7	◎ 94.6
お子さんは、思いやりの心が育っている。	R7年	36.3	58.4	5.3	0.0	0.0	◎ 94.7	
	R6年	39.3	55.3	4.7	0.0	0.7	◎ 94.6	
お子さんは、「ありがとう」「ごめんなさい」を言うことができる。	R7年	31.1	57.9	9.6	1.4	0.0	○ 89.0	
	R6年	32.0	56.0	11.3	0.7	0.0	○ 88.0	

【成果と課題、改善策・向上策】

・普段から「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるように、教員も意識して使っていく。また、道徳や学級活動、学校生活全体でも指導していく。
・毎年実施している「ありがとうの木」は児童に定着してきている。来年度以降も継続し、意識を高めていきたい。

安心・安全で居場所がある「魅力ある学校づくり」			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、友だちと仲よくしている。	R7年	82.7	15.2	1.4	0.7		◎ 97.9
		R6年	78.7	18.7	2.3	0.3		◎ 97.4
	私は、楽しく学校に通っている。	R7年	63.7	526.6	6.9	2.8		◎ 90.3
		R6年	59.0	31.1	6.6	3.3		◎ 90.1
保護者	私は、みんなで何かをするのが楽しい。	R7年	76.4	20.5	1.7	1.4		◎ 96.9
		R6年	72.1	24.7	1.9	0.3		◎ 96.8
	お子さんは、友だちと仲よくできる。	R7年	51.7	43.5	2.4	0.0	2.4	◎ 95.2
		R6年	52.7	37.3	4.0	0.7	5.3	◎ 90.0
お子さんは、楽しく学校へ通っている。	R7年	54.5	38.8	4.3	1.4	1.0	◎ 93.3	
	R6年	55.3	34.7	6.0	2.0	2.0	◎ 90.0	

【成果と課題、改善策・向上策】

・不登校・いじめの未然防止や、楽しく学校に通えていない児童への早期発見に努めるために、東っ子アンケートを定期的実施し、担任以外の外部講師（スクールカウンセラー等）との教育相談も継続していく。
・今年度は、なかよし班遊びや、はびスポットタイム、総合発表会等、異学年交流の機会が増えた。そのため、児童の達成感や満足感を得ることができた。今後も、さらに児童の充実感を得られる活動を実施していきたい。

② 一人一人の確かな学力の向上

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

「わかる授業・できる授業・わくわくする授業」の実践			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、授業がよく分かる。	R7年	47.1	41.5	10.0	1.4		○ 88.6
		R6年	38.9	51.8	6.6	2.7		◎ 91.7
	私は、自分の意見や考えを友だちに伝えることができる	R7年	47.2	40.3	11.8	0.7		○ 87.5
		R6年	39.5	43.2	14.0	2.7		○ 82.7
	私は、先生の話や友だちの発表をしっかりと聞いている。	R7年	62.6	33.6	3.5	0.3		◎ 96.2
R6年		60.5	36.5	2.7	0.3		◎ 97.0	
私は、学習で分からないことがあったら先生や友だちに質問している。	R7年	53.3	32.5	10.0	4.2		○ 85.8	
	R6年	51.2	34.9	10.9	3.0		○ 86.1	
私は、学習に進んで取り組んでいる。	R7年	45.7	37.7	14.5	2.1		○ 83.4	
	R6年	45.2	37.2	15.9	1.7		○ 82.4	
保護者	お子さんは、授業（学習）の内容を理解している。	R7年	24.9	58.9	12.0	0.9	3.3	○ 83.8
		R6年	28.0	54.0	14.0	0.0	4.0	○ 82.0
	学習習慣アップ作戦の取り組みは、お子さんの学習意識を高めるのに効果的であったか。	R7年	19.8	41.1	28.7	5.2	5.2	▲ 60.9

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・学習に関する学校での取り組みや、学習習慣アップ作戦の家庭での取り組みなどを、学年便りやブログ等で紹介し啓発していく。
- ・家庭学習の内容を見直し、タブレット等を活用した活動を取り入れることで、家庭学習に意欲的に取り組む児童を増やしていく。

基礎基本の確かな定着			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、漢字や計算などの学習に取り組んでいる。	R7年	58.0	31.3	9.4	1.3		○ 89.3
		R6年	56.8	34.2	7.0	2.0		◎ 91.0
保護者	お子さんは、漢字や計算などの力が身に付いている。	R7年	28.7	54.0	16.3	0.5	0.5	○ 82.7
		R6年	24.7	58.0	14.0	2.6	0.7	○ 82.7

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・チャレンジテストは、学年の実態に応じた問題や取り組み方を変えて行っていく。
- ・手書きで学習することも大切につつ。デジタルドリルや、学びポケット等、デジタル学習も必要に応じ取り入れ、基礎基本の定着を図っていく。

読書活動の推進			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、くすのきタイムなどに本を読んでいる。	R7年	36.7	25.2	25.9	12.2		▲ 61.9
		R6年	47.1	36.3	13.3	3.3		○ 83.4
	私は、本を読むのが好きである。	R7年	45.5	26.7	15.6	12.2		▲ 72.2
		R6年	44.9	29.0	18.0	8.1		▲ 73.9
保護者	ご家庭で、お子さんが読書に親しみ機会を設けている。	R7年	11.0	25.8	46.9	16.3	0.0	▲ 36.8

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・タブレットの活用が増えたため読書量が減ったと考えられる。
- ・今後は、ライブラリーの環境を整えたり（展示の工夫・読む場所の確保）、児童が読みたくなるような本の購入（リクエストに対応）をしたりするなど、ライブラリーを活用できるようにしていく。また、読書週間だけでなく、図書委員会で考えた企画も取り入れ、全校に呼びかけていく。
- ・週末読書のために本の持ち帰りを行ったり、学習習慣アップ作戦の項目に引き続き「読書の時間」を入れたりして、家庭での読書と呼びかけていく。

③ 基礎体力づくりと健康づくり

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

体力づくりの推進			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、なかよしタイムや昼休みの時間に体を動かしている。	R7年	59.5	29.8	8.3	2.4		○ 89.3
		R6年	59.1	23.6	14.0	3.3		○ 82.7
保護者	学校は、運動やスポーツに親しませ、体を動かす機会を増やすように努めている。	R7年	35.4	47.8	8.1	2.0	6.7	○ 83.2
		R6年	32.0	48.7	10.7	2.0	6.6	○ 80.7
【成果と課題、改善策・向上策】								
・2学期以降、週に一回「はぴスポタイム」や「なかよしのわとび」を行った。そのため数値が上がったと考えられる。来年度も継続して行っていく。								

安全意識の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、交通ルールや登下校のきまりを守り、安全に気をつけて登下校している。	R7年	73.0	25.3	1.7	0.0		◎ 98.3
		R6年	78.7	19.2	1.4	0.7		◎ 97.9
児童	私は、学校でけがをしないように安全に気をつけて行動している。	R7年	58.4	37.1	3.1	1.4		◎ 95.5
		R6年	61.2	31.2	5.3	2.3		◎ 92.4
保護者	お子さんは、交通ルールや登下校のきまりを守り、安全に気をつけて行動している。	R7年	53.6	43.0	2.4	0.5	0.5	◎ 96.6
		R6年	46.0	48.7	1.3	0.0	4.0	◎ 94.7
【成果と課題、改善策・向上策】								
・今年度は、委員会の児童を中心に、右側通行や曲がり角一時停止を意識させるため、廊下にテープを貼って呼びかけた。そのことも数値上昇の一つと考えられる。								
・児童が安全に学校生活を送れるように、学校全体での安全指導の徹底を継続して行う。								
・登下校で問題行動があった際は、すぐに担当地区を集め、状況を確認し指導を行ってきた。今後も早期対応に努めていく。								

望ましい健康意識の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、規則正しい生活（早寝、早起き）をしている。	R7年	45.0	41.5	12.1	1.4		○ 86.5
		R6年	45.2	42.0	9.8	3.0		○ 87.2
	私は、朝ごはんを食べて学校に来ている。	R7年	87.9	8.3	1.7	2.1		◎ 96.2
		R6年	87.7	8.6	2.0	1.7		◎ 96.3
私は、苦手な物でも給食を少しでも食べている。	R7年	79.6	13.5	4.5	2.4		○ 93.1	
	R6年	67.5	21.6	11.8	4.3		○ 89.1	
私は、メディア（ゲーム、テレビ、スマホなど）の時間を守っている。	R7年	47.8	37.7	9.0	5.5		○ 85.5	
	R6年	49.2	34.7	11.8	4.3		○ 83.9	
保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯の習慣が身に付いている。	R7年	41.6	44.5	12.0	1.9	0.0	○ 86.1
		R6年	40.7	48.7	1.3	0.0	4.0	○ 85.4
保護者	家庭では、テレビを見たりゲームをしたりする時間にきまりがある。	R7年	25.8	49.0	19.0	6.2	0.0	▲ 74.8
		R6年	24.0	41.3	26.0	8.7	0.0	▲ 78.6
【成果と課題、改善策・向上策】								
・東っ子生活習慣チェックを継続し、規則正しい生活ができるように指導していく。								
・学校公開日やPTAの活動で「メディアの使い方」「睡眠への影響」について学習し、親子で体や心の影響について学ぶ時間を設けることで、保護者の関心もより一層高まると考える。また、実施後はPTA広報誌やHPで紹介し、継続的に呼びかけ啓蒙していく。								
・年度初めに、我が家のスマートルールを家庭でしっかり話し合っ決めていくように呼びかけていく。来年度は、春東スマートルールを家庭に掲示できるようにしたり、長期休業前に再度配付したりするなど、常に意識できるよう工夫していく。								

④ 信頼される学校づくり

A,Bの合計 ◎:90%以上 ○:80%以上 ▲:80%未満

積極的な家庭・地域との連携、地域を愛する心の育成			A	B	C	D	E	A+B
児童	私は、ゲストティーチャーやボランティアの方との学習は楽しい。	R7年	60.6	31.4	6.3	1.7		◎ 92.0
		R6年	49.5	38.2	9.0	3.3		○ 87.7
	私は、見守り隊や地域の人に感謝の気持ちをもっている。	R7年	67.0	28.1	3.8	1.1		◎ 95.1
		R6年	66.6	24.7	7.4	1.3		◎ 91.3
	私は、今、住んでいる地域が好きである。	R7年	78.2	17.3	3.5	1.0		◎ 95.5
		R6年	78.1	17.2	2.7	2.0		◎ 95.3
保護者	学校は、様々な情報発信（学校だより・学年だより・学級からのお知らせ・ホームページ・メール配信）を行い、家庭との連絡や連携を行っている。	R7年	49.8	44.0	5.2	0.5	0.5	◎ 93.8
		R6年	42.7	49.3	5.3	0.7	2.0	◎ 92.0
	子どものことで、悩みや問題があった時に学校に相談できる。	R7年	39.7	48.4	8.1	1.4	2.4	○ 88.1
		R6年	31.4	56.0	8.0	1.3	3.3	○ 87.4

【成果と課題、改善策・向上策】

- ・今年度は、全ての質問項目において数値が上がっている。要因として、地域人材をゲストティーチャーや講師に招く回数が増えたことが考えられる。また、地域の活動（アーモンド等）に児童を積極的に参加させたことも一つである。
- ・情報発信では、Home & Schoolの利活用が、学校、家庭ともに浸透してきた。しかし、学校からの各種おたよりやブログ等の発信は、教職員の負担にならない程度で定期性をもたせることも今後検討していきたい。
- ・見守り隊を含め、地域の方々に積極的にあいさつをする指導を年間を通じて全職員で行っていく。